

2019年12月期第2四半期  
決算説明会資料

株式会社日本アクア



東証1部 (1429)

2019年8月26日

2019年12月期第2四半期

業績の状況

注カポイント

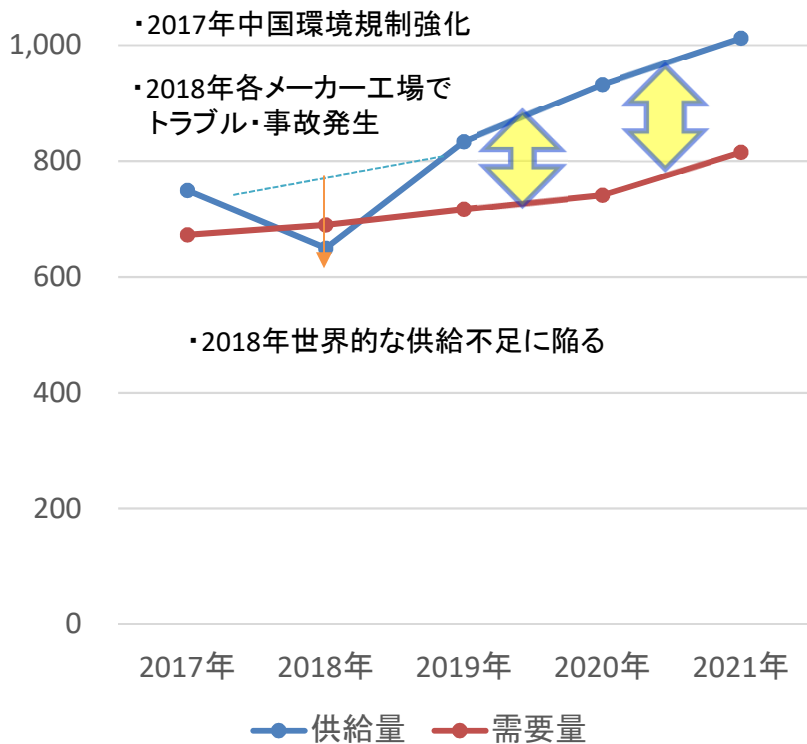
# イソシアネート需給バランス予測



➤ 全世界イソシアネート(MDI)の需給ギャップは広がる

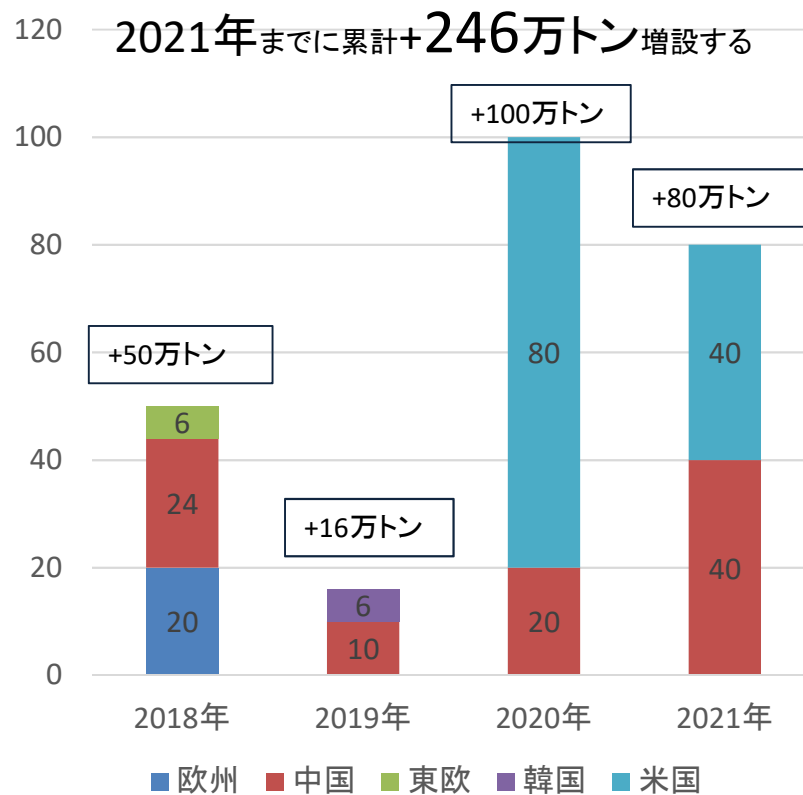
単位:万トン

イソシアネート(MDI)供給/需要 予測



単位:万トン

イソシアネート(MDI)増設計画



➤ 2018年～2021年にかけて右グラフのとおりイソシアネート(MDI)の生産能力が純増、生産余剰の状況は継続する見込み

新商品  
アクアモエン  
販売開始  
7月12日  
大臣認定取得



# 建築物 アクアモエンの耐火性能



アクアモエン



押出法ポリスチレンフォーム



アクアフォームNEO

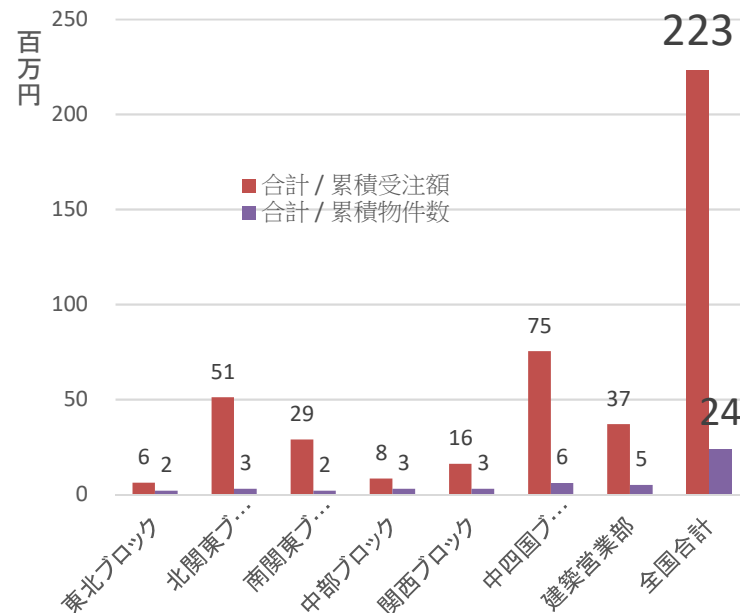


バーナー燃焼時間  
00:00.00

# 建築物 不燃断熱材アクアモエン® 受注速報



## エリア別アクアモエン受注グラフ



2019/7/23—2019/8/22まで  
受注及び受注見込み額

**223** 百万円

累積物件数

**24** 物件

アクアモエンで建築物断熱材市場シェアを伸ばす！

## メディア取材履歴

新聞社名	記事掲載日
日本経済新聞 “日本アクア、燃えにくい断熱材発売建設中の火災防止に”	7/23
日刊木材新聞 “現場吹付硬質ウレタン不燃タイプを開発 ゼネコンから受注相次ぐ”	7/30
化学工業日報 “不燃性断熱材を育成、短工期化を訴求”	7/31
建通新聞 “アクアモエン発売 大臣認定受ける”	8/1
日刊建設工業新聞 “断熱材の耐炎性能向上 非住宅分野へ積極提案”	8/2
東京新聞・中日新聞 “燃えにくいウレタン 素早く炭化 火花はじく”	8/12.13

- 汎用発泡プラスチック系断熱材、当社の従来品と比較して耐火性能が高い。
- 溶接の火花がかかっても着火しない
- 溶断による微小な溶融金属は、弾くか表面にとどめるだけで燃えない
- 断熱性能に優れる(JISA9526A種1H) 熱伝導率 0.026以下
- 低GWP(Global-warming potential 地球温暖化係数)発泡剤HFOを用いており地球環境に優しい
- 従前の不燃工法は、通常のウレタンフォームの上に不燃コートを吹き付けていたので2回施工になっていたが、アクアモエンなら1回の施工でできる



# 持続的成長を支える組織機能





➤ 総施工機械台数 **512**台 日本最大級

➤ 木造戸建工事体制とシェア

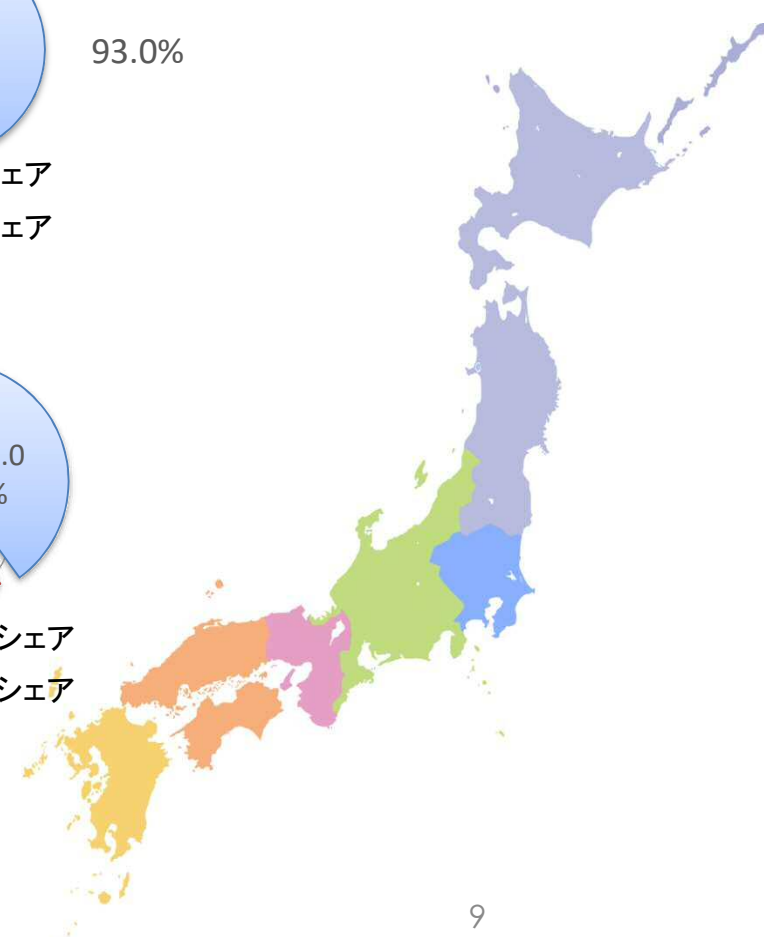
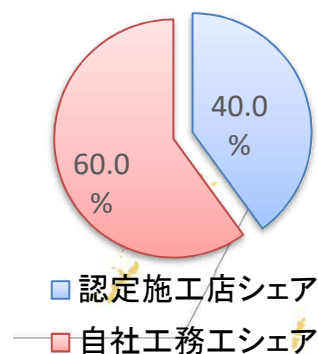
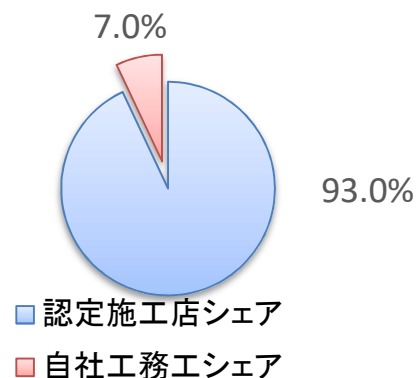
◇ 認定施工店**315**社

◇ 施工機械**451**台

➤ 建築物工事体制とシェア

◇ 工務本部 工務人員**161**名  
(うち技能実習生**56**名)

◇ 工務部 施工機械**61**台



## ポリウレア防水の特長

### ➤ 短工期

スプレー塗布後に超速硬化

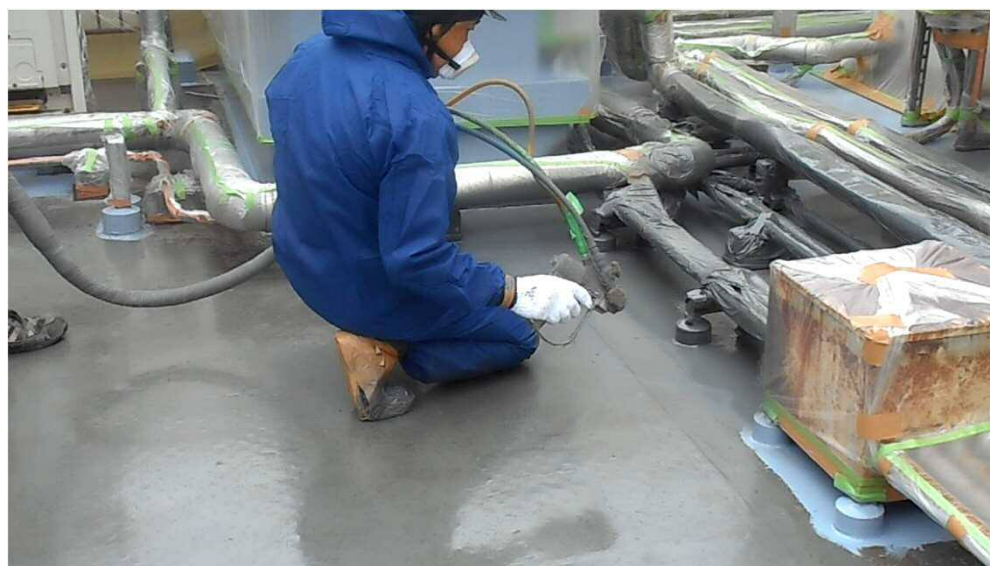
- 瑕疵担保10年は時代に合わない
- 欧米では主流の20年・30年のライフの防水工法を広めていく

### ➤ 長期性能

優れた強度と防水性能

### ➤ 環境性能

無触媒・無溶剤



ポリウレア防水施工動画



# 9月17日新潟営業所新設



➤ 施工カアップで市場シェア拡大

➤ 原料倉庫・自社工務設置拠点

➤ 2018年新潟県総着工戸数 **11,672戸**  
アクアフォーム施工実績 **1,695戸**

# ブローイング・リサイクル



**ウレタン業界初のマテリアルリサイクルの取り組みです。**

日本のリサイクルは約80%がサーマルリサイクルです。



名古屋・仙台のアクアブローファクトリー

2018年アクアブロー生産量は16,013袋 (77,650kg) CO2抑制量 198t  
**アクアブロー再資源化の取り組み**は1年間でブナの木18,000本のCO2を吸収しています。



# 空調事業 (新規事業)



風運時  
*foo~unji*  
 -スマート空調-

安心の10年保証\*

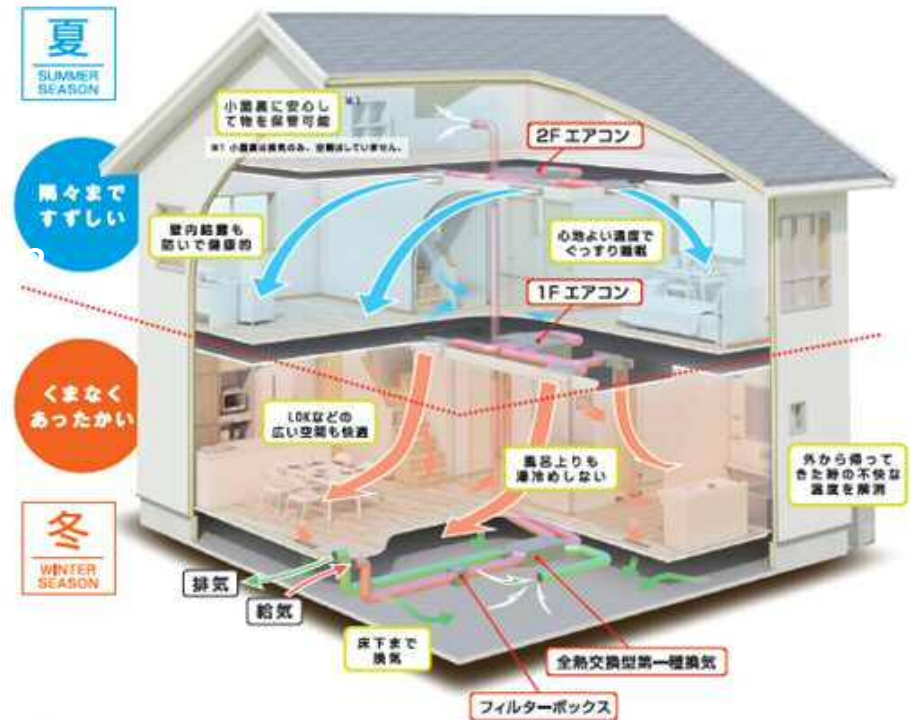


日本の家を変えていく。

特許 第6211675号

# 乙空調

- 乙空調 -



2019年12月期第2四半期

# 決算説明

# 2019年12月期第2四半期の業績 対予想比・対前年増減率



単位：百万円

	2019/2Q 実績	2019/2Q 修正前予想	予想比 (%)	2018/2Q 前期実績	対前年増減率 (%)
売上高	10,003	9,380	106.6	8,844	13.1%
売上総利益	2,372	2,148	110.4	1,597	48.5%
営業利益	722	460	157.0	45	1502.9%
経常利益	720	450	160.0	42	1607.6%
当期純利益	470	280	167.9	-5	-

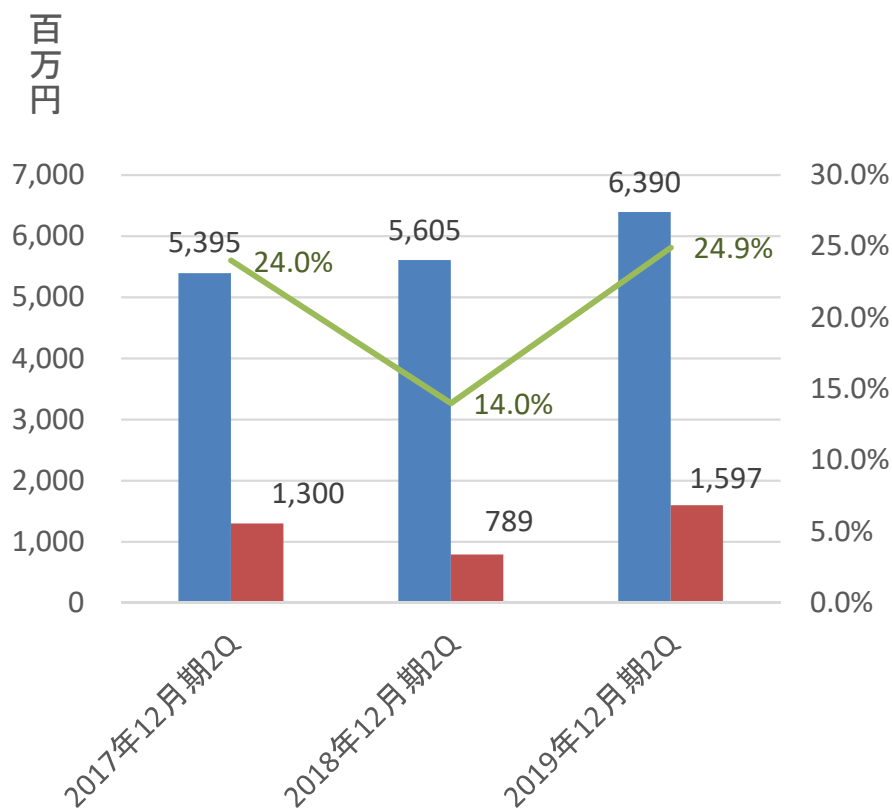
- 全国販売ネットワークを活用した営業活動により、売上高及び各段階利益は、修正前予測及び前期実績に対し増収、増益した
- 増益の要因は、イソシアネート原料価格の低下と増収によるもの
- 8月1日付にて「業績予想の修正に関するお知らせ」を開示、上期の業績予想を修正



# 戸建住宅部門 売上高・売上総利益の推移



■ 木造戸建 ■ 売上総利益 ▲ 利益率



売上高 対前年増減率

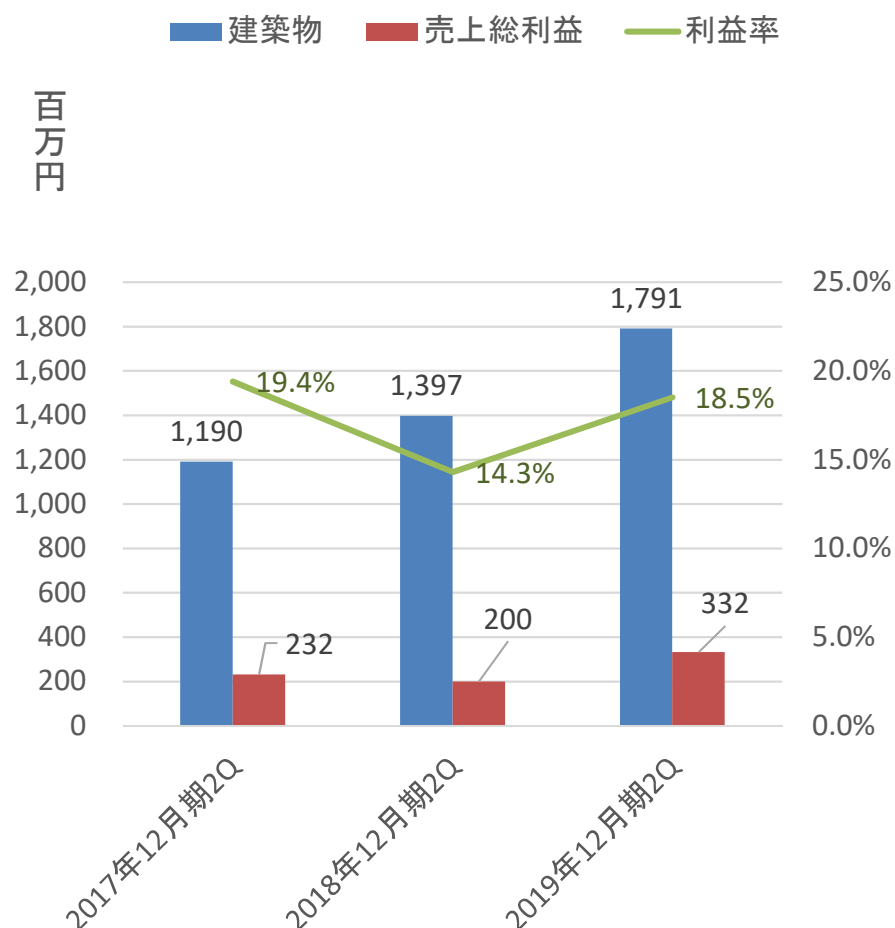
14.0%増収

利益 対前年増減

807百万円増益



# 建築物部門 売上高・売上総利益の推移



売上高 対前年増減率

28.2%増収

利益 対前年増減

131百万円増益

- 建築物売上は、**不燃断熱材**と**防水材**が加わり厚みを増すと期待される

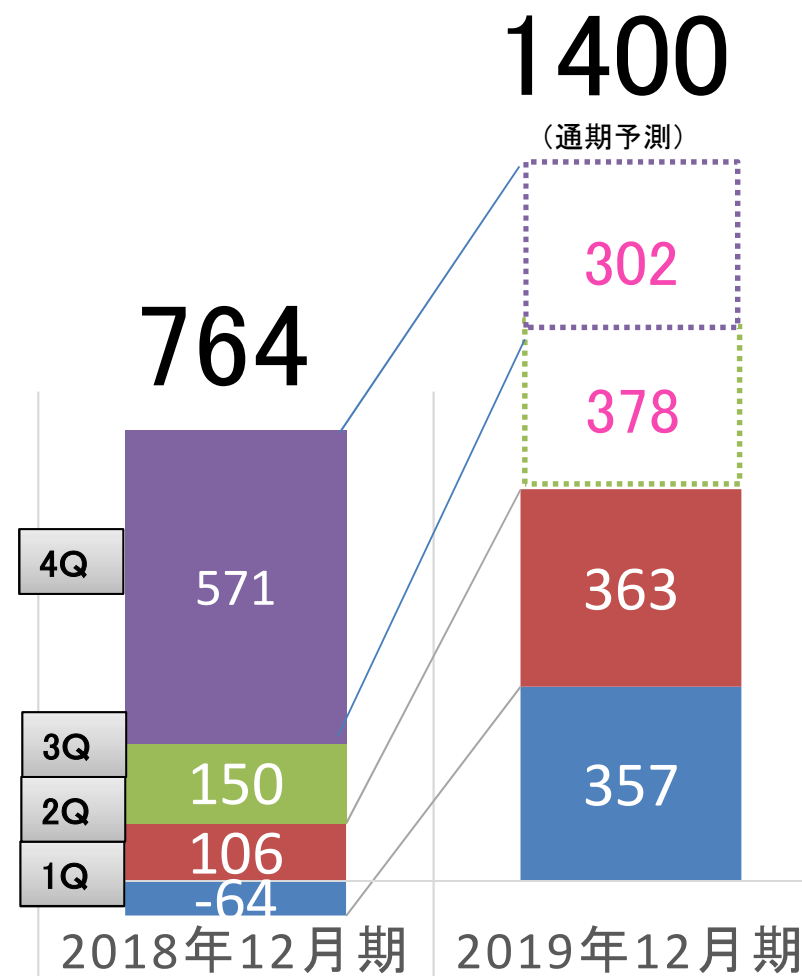
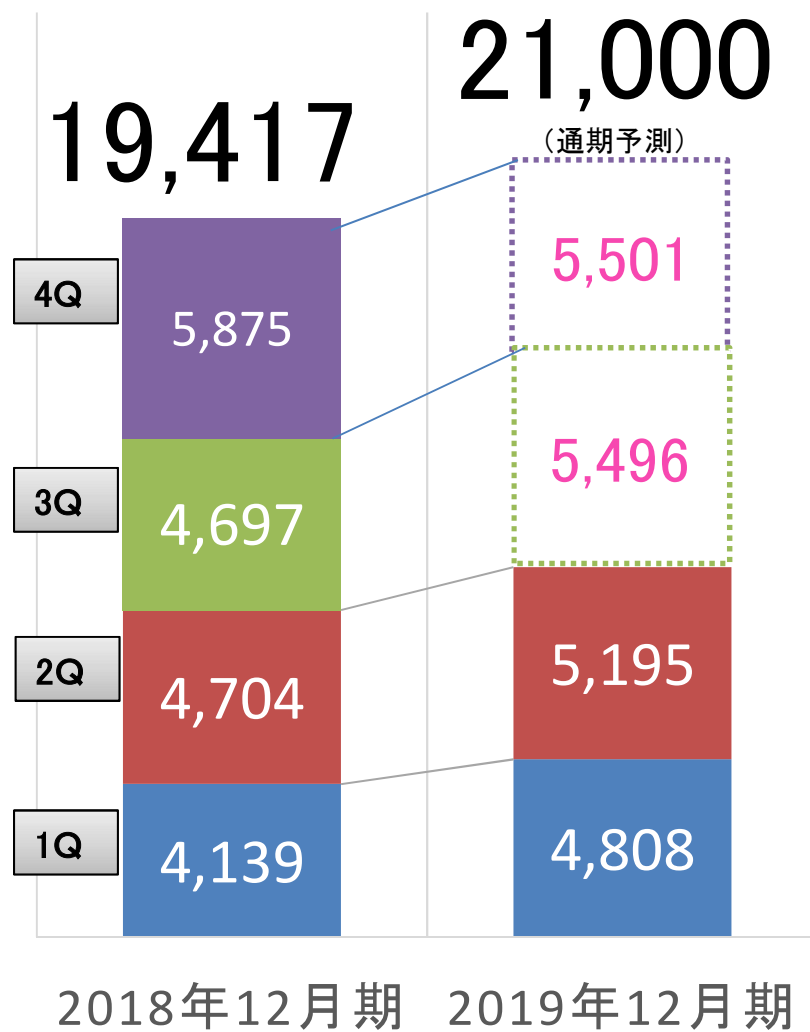
# 2019年12月期通期売上高・経常利益 予測



売上高

単位:百万円

経常利益



# 2019年12月期第2四半期財政状態・C/Fの状況



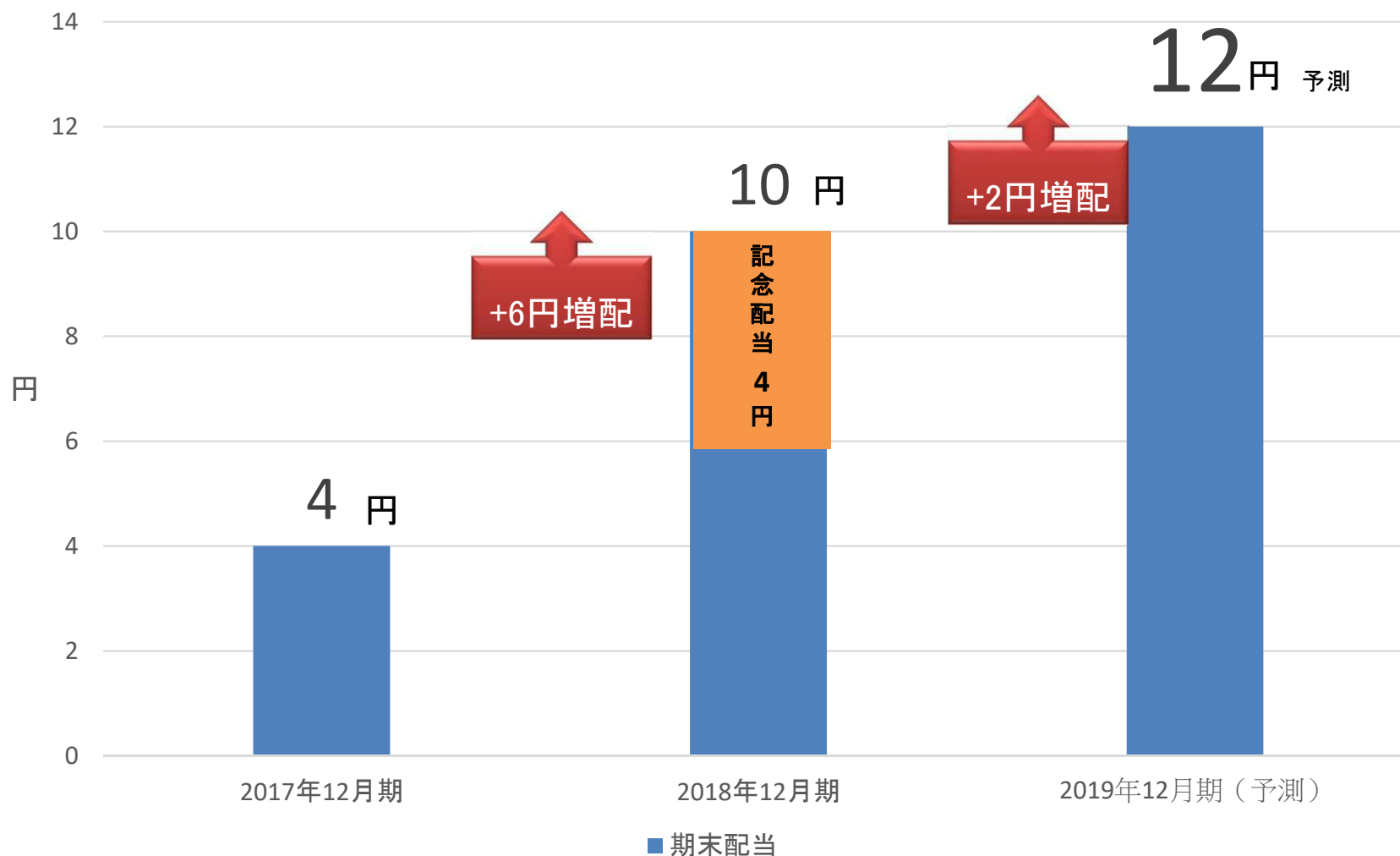
単位:百万円

B/S項目	2019/2Q	2018/12末	対前期末増減率
総資産	13,908	14,381	-3.3%
負債	7,872	8,496	-7.3%
純資産	6,035	5,885	2.5%
自己資本	6,035	5,885	2.5%
自己資本比率	43.4%	40.9%	2.5%

C/F項目	2019/2Q	2018/2Q	対前年増減率
営業C/F	547	△ 354	-
投資C/F	△ 133	△ 71	-
財務C/F	△ 263	754	-
現金及び現金同等物前期末残高	1,893	1,976	-4.2%
現金及び現金同等物四半期末残	2,044	2,305	-11.3%

- 営業C/Fの増加⇒税引前四半期純利益増
- 投資C/Fの減少⇒新潟営業所建設契約時金と土地取得支出
- 財務C/Fの減少⇒配当金支払と当座貸越を圧縮  
よって、手元現預金は減少

# 2019年12月期配当予想及び配当金の推移





会社名	株式会社 日本アクア (Nippon aqua Co., Ltd.)
代表取締役	中村 文隆
本店所在地	〒108-0075 東京都港区港南2-16-2
事業内容	建築断熱用硬質ウレタンフォームの開発・製造・販売・施工 住宅省エネルギー関連部材の開発・製造・販売
従業員数	463人(単体:2019年6月末現在)
設立年月日	平成16年11月29日
資本金	19億1百万円
発行済株式総数	34,736,000株(2019年6月末現在)
株主数(2019年6月末現在、総株主数)	2,777名)

本資料に記載されている当社の業績予想及び将来予測に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて判断したものであり、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。また、本資料の作成にあたっては、記載されている情報に誤り・遺漏等が無いよう、細心の注意を払っておりますが、その情報の正確性及び完全性を保証するものではありません。